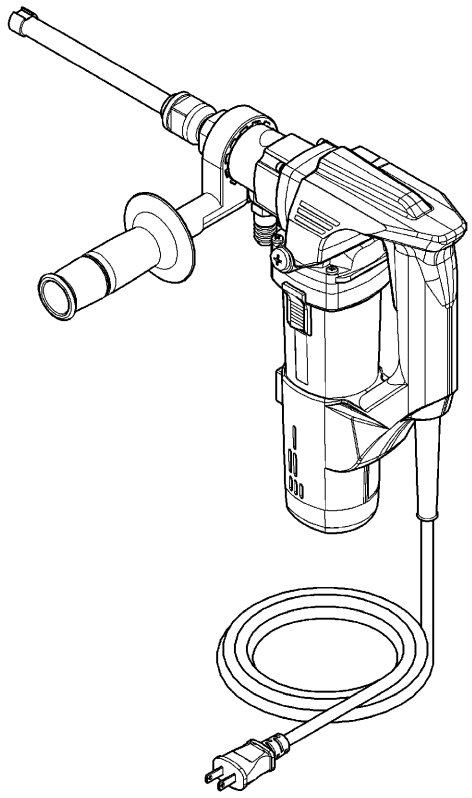
Hakken

# 乾式アンカードリル

# ADD－020H

## 取 扱 説 明 書



◎ このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。

◎ ご使用前に、この「取扱説明書」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく安全に使用してください。

◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

CONSEC CORPORATION

## 注意文の「⚠警告」、「⚠注意」、「ポイント」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」、「⚠**注意**」と「**ポイント**」に区分していますが、それぞれ次の意味を現します。

⚠**警告**：誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠**注意**：誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**ポイント**：製品の据付け、使用方法、メンテナンスに関する重要な事項。

なお、「⚠**注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本文中では、「乾式アンカードリル」のことを「アンカードリル」、「乾式アンカービット」のことを「アンカービット」と記述しています。

# 目 次


１．警告 および 注意
【１】電動工具の安全上のご注意 …… ２
【２】アンカードリル使用上のご注意 …… ４
【３】アンカービット使用上のご注意 …… ６
２．各部の名称 …… ７
３．仕様 …… ８
４．標準付属品 …… ８
５．用途 …… ８
６．オプション品（別売） …… ９
７．使用時全体図 および 仕様
【１】通常使用状態 …… １０
【２】防じんカバーを取付けての使用状態 …… １０
８．キャリングケース収納状態 …… １１
９．使用方法
【１】スイッチについて …… １２
【２】サイドグリップの取付け …… １３
【３】アンカービットの取付け …… １３
【４】集じん処理の準備 …… １４
【５】穴あけ作業 …… １４
【６】穴あけ作業終了 …… １６
10. 防じんカバーを取付けて使用する場合 …… １７
11. 作業中のトラブルと対策
【１】作業中のトラブルと対策方法 …… １８
【２】アンカービットがロックした場合の解決方法例 …… １９
12. 保守・点検・修理
【１】保守 …… ２０
【２】点検 …… ２０
【３】定期点検 …… ２０
【４】修理について …… ２１
13. 製品の保管 …… ２１

# 1．警告 および 注意

◎ 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「電動工具の安全上のご注意」「アンカードリルの使用上のご注意」「アンカービットの使用上のご注意」を必ず守ってください。

◎ ご使用前に、この「警告および注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。

◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 【1】電動工具の安全上のご注意

**⚠ 警 告**

1．**指定された用途以外には使用しないでください。**

2．**作業者以外は施工場所へ近づけないでください。**
◎ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

3．**施工場所の周囲状況も考慮してください。**
◎ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
◎ 施工場所は十分明るくしてください。
◎ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
◎ ちらかった施工場所は、事故の原因となります。

4．**きちんとした服装で作業してください。**
◎ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
◎ ゴム手袋と滑り止めのついた履物を着用してください。
◎ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

5．**保護めがねを使用してください。**
◎ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

6．**無理な姿勢で作業をしないでください。**
◎ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

7．**油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
◎ 電動工具を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。
◎ 回転物には、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
◎ 可動部分や接続部分などに、手や足を挟まないように注意してください。
◎ 疲れている場合は、使用しないでください。

8．**感電に注意してください。**
◎ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
◎ 漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。

## ⚠警 告

9. **コードを乱暴に扱わないでください。**
   ◎ コードを持って電動工具を運ばないでください。
   ◎ コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
   ◎ コードを熱・油・角のとがった所に近づけないでください。

10. **指定の付属品やオプション品を使用してください。**
   ◎ 本取扱説明書およびコンセックのカタログに記載されている付属品やオプション品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

11. **損傷した部品がないか点検してください。**
   ◎ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動し、所定機能を発揮するか確認してください。
   ◎ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
   ◎ 損傷・故障した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
   ◎ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
   ◎ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
   ◎ スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所で修理を行ってください。

12. **次の場合は電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。**
   ◎ 使用しない、または、修理する場合。
   ◎ 刃物などの付属品を交換する場合。
   ◎ その他危険が予想される場合。

13. **調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。**
   ◎ 電源を入れる前に、点検・調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

14. **電動工具は注意深く手入れをしてください。**
   ◎ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
   ◎ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
   ◎ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
   ◎ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

15. **使用しない場合はきちんと保管してください。**
   ◎ 乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な所または、錠のかかる所に保管してください。

16. **不意な始動は避けてください。**
   ◎ 電源につないだ状態で運ばないでください。
   ◎ プラグを電源に差込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

17. **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
   ◎ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

| ⚠ 警 告 |
|---|
| 18．作業に合った電動工具を使用してください。<br>◎ 小型の電動工具やアタッチメントは、 大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。<br><br>19．電動工具の修理は専門店に依頼してください。<br>◎ 本製品は、 該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。<br>◎ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、 十分な性能を発揮しないだけでなく、 事故やけがの原因となります。<br>◎ 修理は、 必ずお買い求めの販売店または、 コンセック各営業所にお申し付けください。 |

## 【2】アンカードリル使用上のご注意

| ⚠ 警 告 |
|---|
| 1．引火や爆発の恐れのある場所では使用しないでください。<br>◎ アンカービットは、使用中に火花を発生することがあります。 埋設されているガス管・電線には注意してください。<br><br>2．電線管・水道管などの埋設物に注意してください。<br>◎ 電気が流れている電線や電線管などに接触すると感電する恐れがあります。<br>◎ 壁・ 床などに穴あけを行う場合は、 埋設物のチェックを十分に行ってください。<br><br>3．高所での作業は、 関係法令に従って作業してください。<br>◎ 安全な足場を確保して、 足場より1．5m以上での作業はしないでください。<br>◎ 高所での作業の場合は、 十分にスペースのあるしっかりした足場を確保してください。<br>◎ 高所での作業の場合は、 施工場所の下に人を入れないようにしてください。<br><br>4．貫通側の安全面に注意してください。<br><br>5．作業者は、 保護めがね・防じんマスク・耳せんなどの保護具を着用してください。<br><br>6．漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。<br><br>7．使用電源は銘板に表示してある電源を使用してください。<br>◎ 表示を超える電圧で使用すると、 回転が異常に高速となり、 けがの原因になります。<br><br>8．サイドグリップを必ず取付けて、 アンカードリルをしっかりと保持してください。<br>◎ 穴あけ中は、 アンカードリルに大きな回転反力がかかります。 特に、 切込み時や、 鉄筋を切削した場合に注意してください。<br><br>9．メインシャフトにガタや振れがないことを確認してください。<br>◎ メインシャフトの振れが大きいと、 アンカービットが破損し、 けがをする危険があります。<br><br>10．アンカービットはメインシャフトにしっかり取付けてください。<br>◎ アンカービットのねじ部根元のテーパが、 メインシャフトにはまり込むまでねじ込んで、 必ずスパナで締付けてください。 |

## ⚠ 警 告

11. 絶対に片手で穴あけを行わないでください。
◎ 両手でハンドルとサイドグリップを持ち、 アンカードリルをしっかり固定して作業してください。

12. 回転中のアンカービット・メインシャフトには絶対に触れないでください。
◎ 回転中のアンカービットやメインシャフトには、 手や身体を近づけないでください。 巻き込まれたり、 けがをする恐れがあり危険です。

13. モータの風穴をふさいだり、 風穴に物を入れないでください。

14. 穴あけ途中に、 アンカードリルをこじたり無理に強く押付けたりしないでください。
◎ モータに無理がかかるばかりでなくアンカードリル自体に強い反発力を生じ、 けがの原因になります。

15. 異常時にはただちに作業を中断し、 電源からプラグを抜いてください。
◎ 切削中にアンカービットが止まったり、 異音を発した時は、 ただちにトリガースイッチを離してメインシャフトの回転を止め、 電源からプラグを抜いてください。

16. 石綿（アスベスト）は人体に有害です。このような成分を含んだ材料に穴あけをするときは、関係法令に従って防じん対策をしてください。

17. 当社専用のアンカービット以外は使用しないでください。
◎ 指定以外のビットを使用されるとトラブルの原因になります。

18. 最大アンカービット呼径を超えるアンカービットは、使用しないでください。

19. 貫通穴あけをする場合は、貫通する直前に推力(押付け力)を弱めてください。
◎ 貫通時の勢いで身体が不安定になり、 けがをする危険があります。

20. トリガースイッチに指をかけて運ばないでください。
◎ ロックレバーにより、トリガースイッチが入った状態で固定されていると、 気づかずにプラグを電源に差込んだ時またはメインスイッチを入れた時、 不意にメインシャフトが回転し、大変危険です。

21. サイドグリップを持って運ばないでください。
◎ サイドグリップの締付けが弱いと、 アンカードリル本体がはずれ、 落下する危険があります。

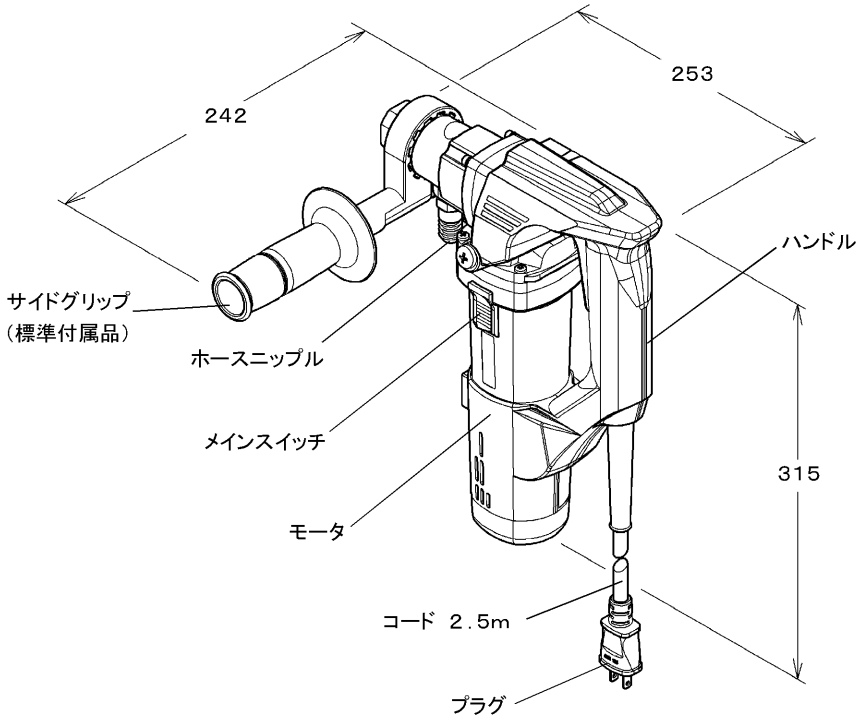
| ⚠ 注 意 |
| --- |
| 1. アンカービットが穴あけ面に接した状態で、モータを回転させないでください。<br>◎ アンカービットやアンカードリルの破損の原因となります。<br>2. 穴あけ作業はアンカービットが全速回転になってから行ってください。<br>3. 無理して使用しないでください。<br>◎ 安全に能率よく作業するために、 機器の能力に合った速さで作業してください。 |

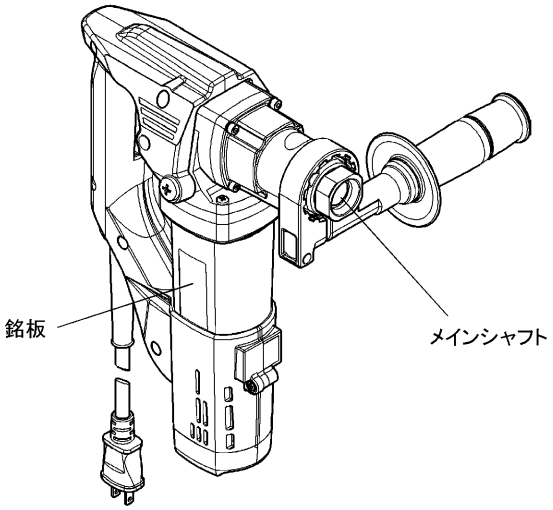
## 【3】アンカービット使用上のご注意

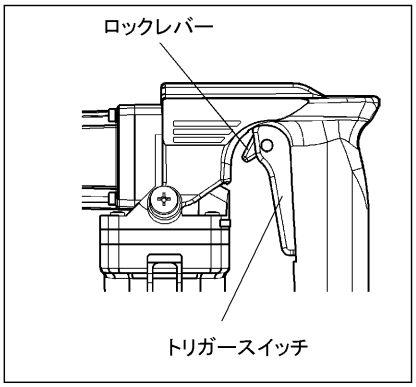
| ⚠ 警 告 |
| --- |
| 1. アンカービットの取扱説明書をよく読み、指示に従って正しく使用してください。<br>2. 当社指定のアンカードリルに取付けて使用してください。<br>3. アンカービットにひび割れ・欠け・変形がないことを目視や手で確認してください。<br>4. アンカービットのチップ(刃部)・シャンク部に異常摩耗がないことを確認してください。<br>◎ 異常摩耗を発見した場合は、 アンカービットを交換してください。<br>◎ アンカー施工を目的としたアンカービットです。 鉄筋を切削するとチップの異常摩耗やシャンク部の破損の恐れがあります。<br>5. 急激なこじり・大きな衝撃などを与えないでください。<br>◎ アンカービットの刃部の破損やシャンク部が変形する原因となり危険です。<br>6. アンカービットを落としたり、ぶつけたりしないでください。アンカービットの振れの原因となり、アンカービットが破損することがあります。<br>7. アンカービットの形状を変えるような加工をしないでください。<br>8. 乾式で使用してください。<br>◎ 注水しますと切り粉の排出が悪くなり、 穴あけできなくなることがあります。<br>9. アンカービットは切削中に高温になりますので、引火性の油などは絶対に塗布しないでください。 |

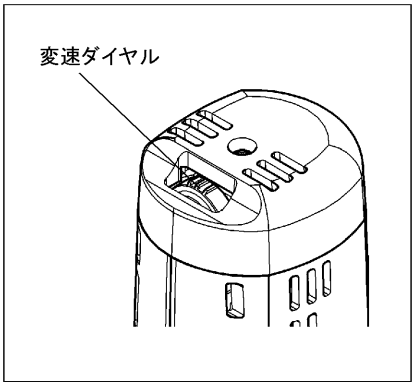
| ⚠ 注 意 |
| --- |
| 1. アンカービットの取付けねじ部には耐熱性グリースを塗布してください。<br>◎ アンカービットをメインシャフトに取付ける時に、 ねじ部にグリースを塗布しておくと作業後の取りはずしが容易になり、 錆付き防止にもなります。<br>2. 切り粉の排出を行ってください。<br>◎ 切り粉の排出状態が悪くなると、 アンカービットの刃部がロックしたり目づまりして、 正常な切削ができなくなります。<br>3. アンカービットをキャリングケース以外で保管する場合は、落下や衝撃が加わる恐れのない場所に保管してください。 |

# ２．各部の名称


242
253
ハンドル
サイドグリップ
（標準付属品）
ホースニップル
メインスイッチ
モータ
315
コード　2.5m
プラグ


銘板
メインシャフト

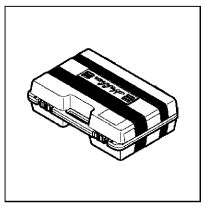

ロックレバー
トリガースイッチ


変速ダイヤル

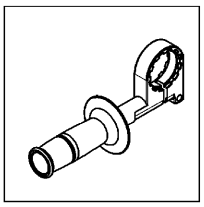
# 3．仕 様

| 型式名 | ADD－020H |
|---|---|
| モータ | 単相直巻整流子モータ |
| 使用電源 | 単相交流 50／60Hz 電圧 100V |
| 定格電流 | 15A |
| 最大出力 | 1800W |
| 無負荷回転速度 | 2800～10500$min^{-1}$ |
| 適用コアビット呼径 | 10～18mm |
| コアビット取付ねじ | G 1／2ねじ |
| 質量（コード除く） | 3．2kg |

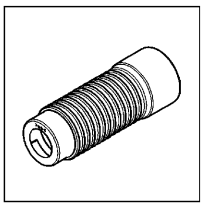
# 4．標準付属品



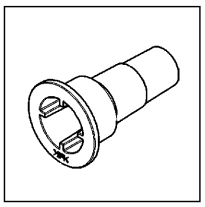
キャリングケース
（ADD用）
… 1ケ



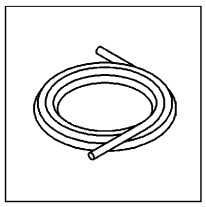
サイドグリップ
… 1ケ



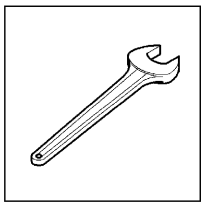
防じんカバー
（ADD用）
… 1ケ



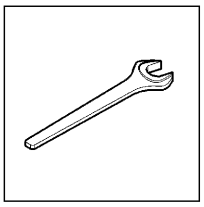
ホースアダプタ
（ADD用）
… 1ケ



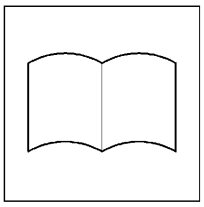
ホース
（内径）φ19×2m
… 1ケ



片口スパナ
32mm
… 1ケ



片口スパナ
22mm
… 1ケ



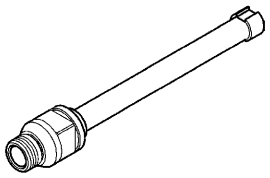
取扱説明書
… 1ケ

# 5．用 途

◎ アンカー施工用下穴あけ。
◎ 水が使用できない場所での穴あけ。
◎ 打撃音を出せない場所での穴あけ。

# ６．オプション品 （別売）

ADD用乾式アンカービット
（N1タイプ）

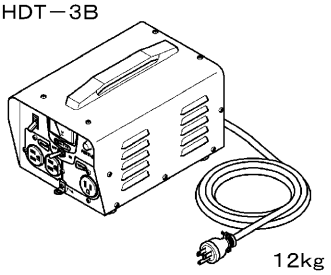


乾式専用のアンカービットで、穴あけの呼径に応じて各種類があります。

| 呼径 | 外径 [mm] | 有効長 [mm] | 全長 [mm] |
|---|---|---|---|
| 10 | 10.0 | 50 | 216 |
| 10.5 | 10.5 | | |
| 12 | 12.0 | 150 | |
| 12.5 | 12.5 | | |
| 12.7 | 12.7 | | |
| 14.5 | 14.5 | | |
| 16 | 16.0 | | 218 |
| 18 | 18.0 | | 220 |

※ 全長は新品時チップの先端を含めた長さです。

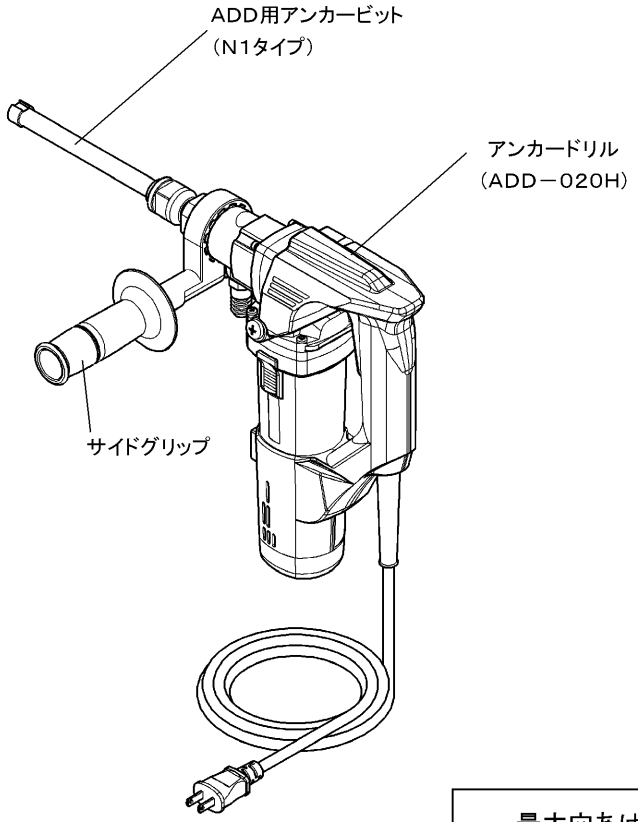
ハードトランス（ポータブル変圧器）
HDT－3B




電源電圧が低下している時や、200V電源を100V・115V・120Vに変更したい時に使用します。

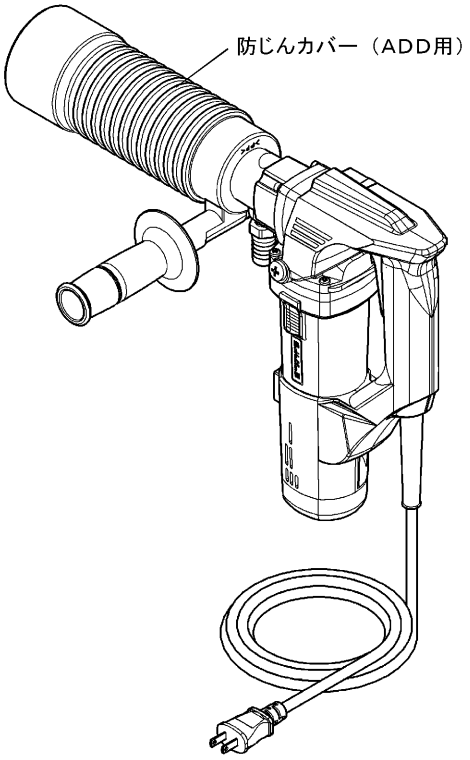
# 7．使用時全体図 および 仕様

【1】通常使用状態




| | |
|---|---|
| 最大穴あけ深さ | 150mm |
| 最大穴あけ呼径 | 18mm |

【2】防じんカバーを取付けての使用状態



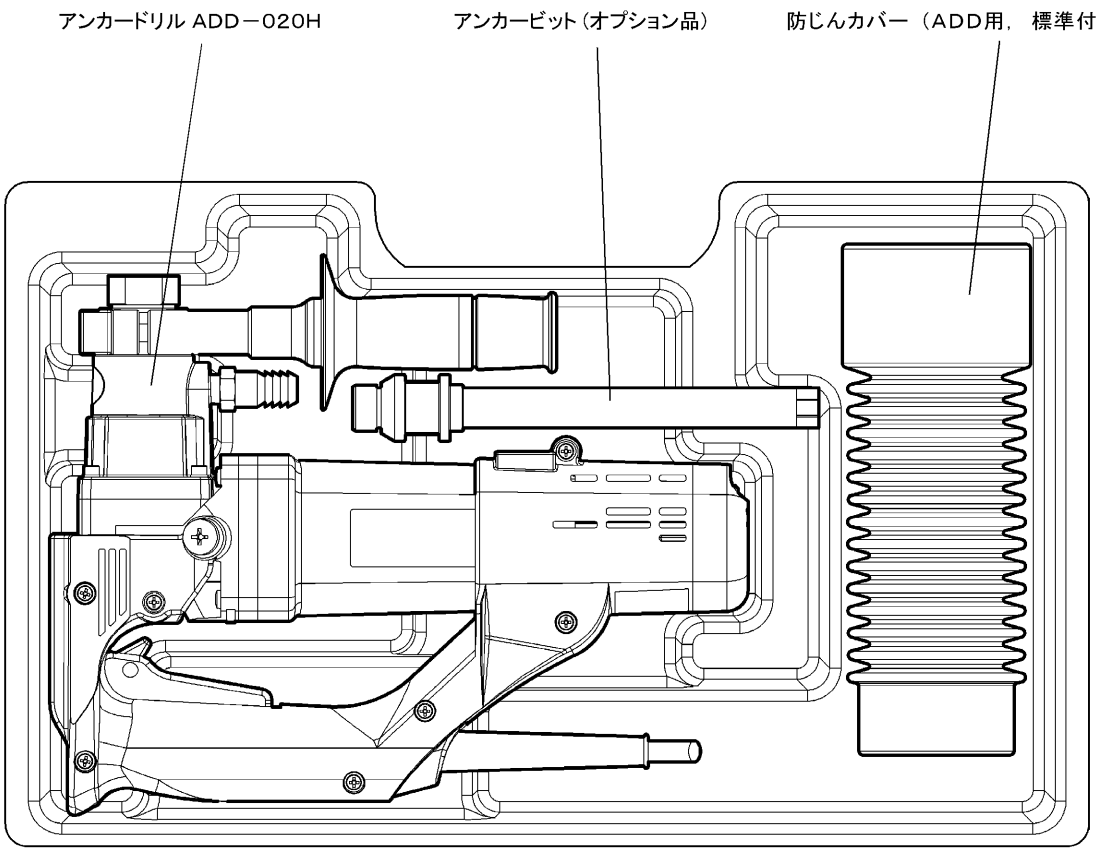
# 8．キャリングケース収納状態

ポイント

1．工具・サイドグリップ・防じんカバー等の小物がキャリングケース内で動かないように、スポンジ等で固定してください。

2．切り粉等がモータ内に入らないように清掃してから収納してください。

3．アンカービットが高温の場合は冷却し、水気のある場合はよく乾燥させてから収納してください。（収納可能なビットはφ18mmまでです）




収納状態

# ９．使用方法

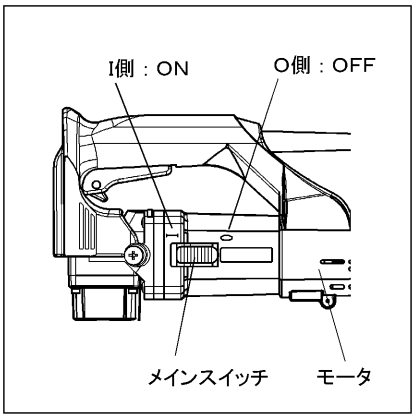
| ⚠ 警 告 |
| --- |
| 穴あけ作業以外の時は、必ずプラグを電源から抜いてください。 |

## 【1】スイッチについて

◎ 本製品はメインスイッチ（モータ部）とトリガースイッチ（ハンドル部）と2箇所のスイッチがありますので、どちらか1つのスイッチを入れただけではメインシャフトは回転しません。

### 1. メインスイッチ

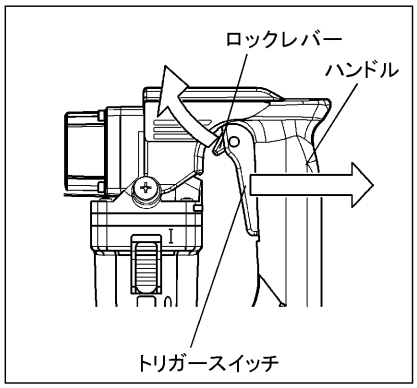
ビット着脱時用の安全スイッチです。メインスイッチを「I」側にスライドさせるとON、「O」側にスライドさせるとOFFになります。（この時点ではメインシャフトは回転しません。）




| ⚠ 警 告 |
| --- |
| 1. メインスイッチではメインシャフトの回転、停止は行わないでください。メインシャフトの回転、停止は必ずトリガースイッチで行ってください。<br>2. メインスイッチは作業時にはON、アンカービット着脱時、運搬時、保管時は必ずOFFにしてください。 |

### 2. トリガースイッチ

◎ トリガースイッチを引くとON、離せばOFFになります。トリガースイッチを引いた状態でロックレバーを矢印の方向に上げると、トリガースイッチが固定されます。スイッチの固定を解除するには、もう一度トリガースイッチを引いてください。ロックレバーがはずれ、指を離せばトリガースイッチがOFFの状態に戻ります。

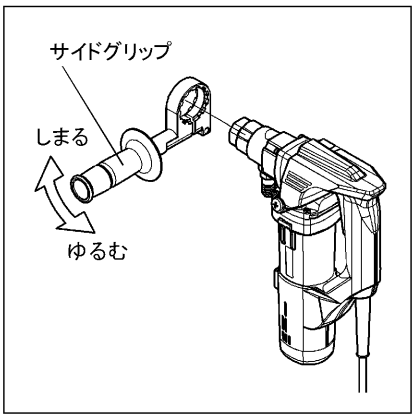



| ⚠ 警 告 |
| --- |
| プラグを電源に差込む前に、すべてのスイッチが切れていること必ず確認してください。ロックレバーを入れたままプラグを差し込むと、急に動きだし事故の原因になります。 |

◎ 本製品はソフトスタート回路を内蔵しています。トリガースイッチを引くと、メインシャフトがスムーズに回転しはじめ、モータ起動時の反動を抑えます。トリガースイッチを離すとメインシャフトの回転が止まります。

## 【2】サイドグリップの取付け

◎ サイドグリップをアンカードリルに取付け、しっかり締付けてください。 サイドグリップは360°どの位置にも固定できますので、 作業しやすい位置に固定して使用してください。

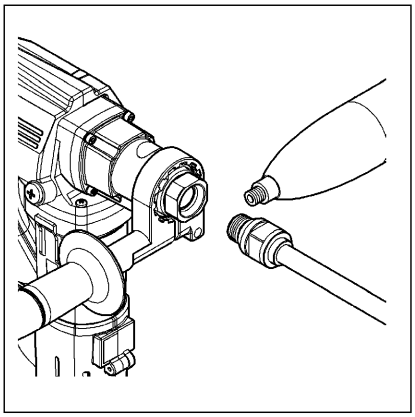



**⚠ 警 告**

1. サイドグリップを取付けないで作業を行うと危険です。 サイドグリップは必ず取付け、 両手でしっかりと保持して作業してください。
2. サイドグリップが締付け不足の状態で作業を行うと危険です。 アンカードリルにしっかりと締付けて固定してください。

## 【3】アンカービットの取付け

◎ アンカービットのねじ部にグリースを少量塗布してください。 アンカービットのねじ部根元のテーパがメインシャフトにはまり込むまでねじ込んで、 スパナ(22 mm・32 mm)で締付けてください。



**⚠ 警 告**

アンカービットの取付け・取りはずしは、 必ず電源コードのプラグを電源から抜いて行ってください。

**⚠ 注 意**

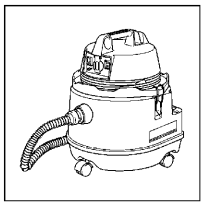
アンカービットを取扱う時は、ゴム手袋を着用し、けがのないように注意してください。

**ポイント**

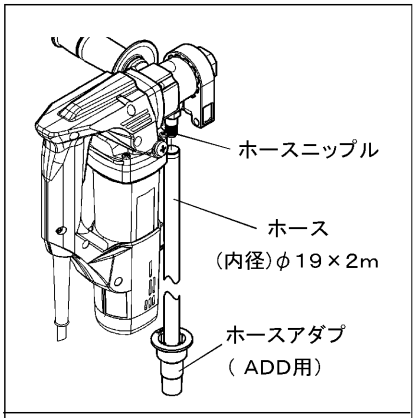
1. アンカービットを取付ける時、グリースを塗布することにより、作業後の取りはずしが容易になります。
2. メインシャフトのねじおよびテーパ部の汚れを、乾いた布できれいに拭き取ってからグリースを塗ってください。

## 【4】集じん処理の準備

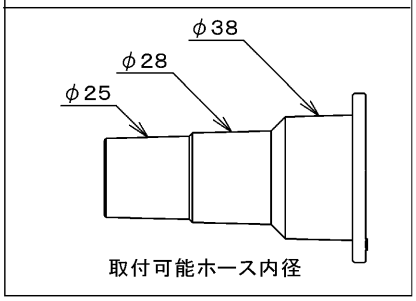
準備するもの



集じん機
… 1ケ




◎ ホース（標準付属品）の片方をアンカードリルのホースニップルの根元まで差込みます。もう片方にはホースアダプタを差込み、集じん機のホースと接続してください。（このアダプタは、口径（内径）φ25、φ28、φ38のホースが取付可能です。）




取付可能ホース内径

**⚠ 注 意**

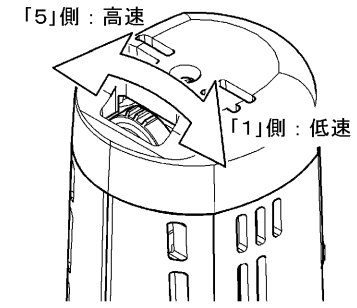
集じん機の取扱いについては、集じん機の取扱説明書に従って使用してください。

## 【5】穴あけ作業

**⚠ 警 告**

1. 電源にプラグを差込む前に、トリガースイッチのロックレバーが入っていないことを必ず確認してください。
2. 穴を貫通させる場合は、貫通側の安全対策を行った上で作業してください。
3. 脚立等、固定されていない物の上に乗って、穴あけを行わないでください。

◎ 変速ダイヤルを回すことにより回転速度を自由に変えられます。変速ダイヤルを「5」側に回すと高速回転、「1」側に回すと低速回転になります。




変速ダイヤル

**⚠ 警 告**

変速ダイヤルを1～3に調整して、長時間過負荷状態で穴あけを行わないでください。モータが焼損する恐れがあります。

変速ダイヤル数値と回転速度の目安

| 変速ダイヤル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|
| 回転速度 $min^{-1}$ | 2,800 | 4,000 | 6,500 | 9,000 | 10,500 |

**⚠ 注 意**

通常は「5」で使用し、現場状況（例えば被削物のコンクリートの硬さとか骨材の違い）に応じてダイヤルを調整してください。

**⚠ 警 告**

穴あけ中や作業直後のアンカードリルは、メインシャフトおよびギヤケース部が高温になっています。やけどをする危険がありますので、直接手などで触れないでください。

1）プラグを電源に差込んでください。

2）集じん機のスイッチを入れ集じん処理を開始してください。

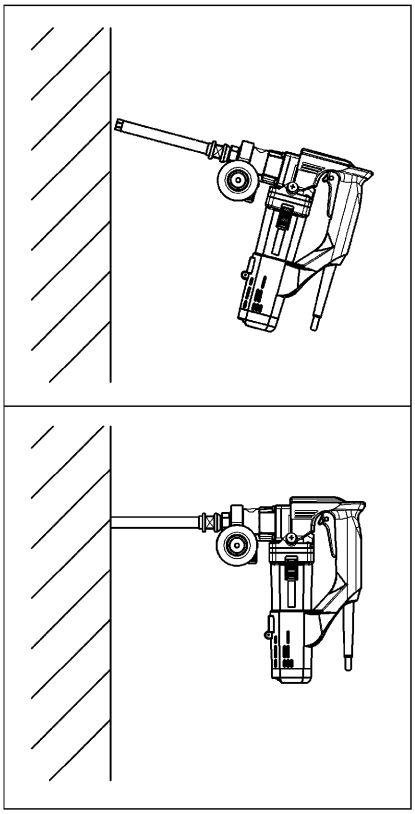
3）メインスイッチをONにしてください。

4）トリガースイッチを引き、 切込みを行ってください。

① アンカードリル本体を穴あけ面に対し少し傾けた状態にしてください。

② トリガースイッチを引き、 全速回転になったら穴あけ面に刃先をあててください。

③ 穴あけ面に刃先が入り安定したら、 アンカードリル本体を戻し、 一定の推力（押付け力）で穴あけ面に直角に押してください。



**⚠ 警 告**

1. 切り込み時はアンカービットがブレやすいので注意してください。
2. 音や振動などに異常を感じた場合は、ただちに作業を中断して、電源からプラグを抜いてください。
3. モータ回転中は、モータ部の風穴をふさいだり、風穴に物を入れないでください。また回転部分に触れないでください。
4. 穴あけ途中で鉄筋・異物にあたった時は穴あけを中止してください。このアンカードリルは鉄筋切削用ではありません。そのまま穴あけを続けると、アンカービットやアンカードリルの破損および事故などの恐れがあり危険です。

**⚠ 注 意**

1. アンカービットが穴あけ面に接した状態でアンカードリルを起動させると、アンカービットやアンカードリルの破損の恐れがあり危険です。
2. 無理に穴あけ面に押し付けると、アンカービットの摩耗増加・切削能率の低下を招きます。

**ポイント**

本機は約1秒で全速回転になります。

5）所定の穴あけ深さまで切込んだら、 アンカービットを穴から抜いてトリガースイッチを離し、メインシャフトの回転を止めてください。

6）メインスイッチをOFFにし、 プラグを電源から抜いてください。

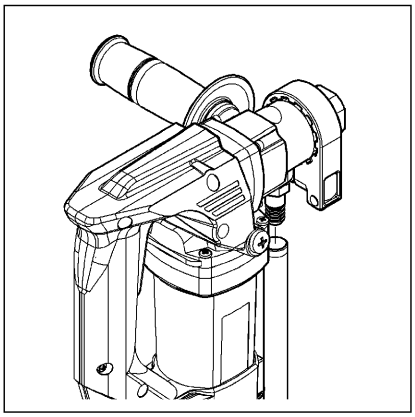
| ⚠ 警 告 |
| --- |
| プラグを電源から抜く時は、コードを引張らないでください。 濡れた手や手袋で、プラグや電源コンセントに触れないでください。感電する恐れがあり危険です。 |

7）集じん機のスイッチを切ってください。

## 【6】穴あけ作業終了

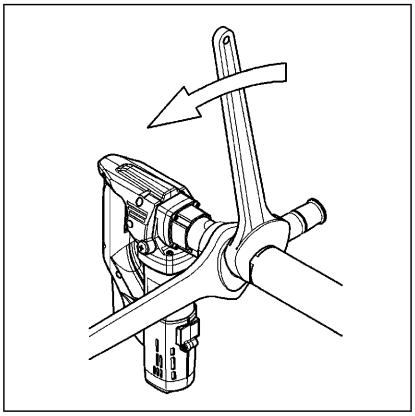
1）ホースニップルからホースを取りはずしてください。

| ⚠ 注 意 |
| --- |
| ホースを取りはずす時に、 切り粉が飛散しないように注意してください。 |



2）スパナ(22 mm・32 mm)でメインシャフトからアンカービットを取りはずしてください。

| ⚠ 警 告 |
| --- |
| 穴あけ直後のアンカードリル、 アンカービットは、 高温で危険です、 直接手で持たないでください。 |



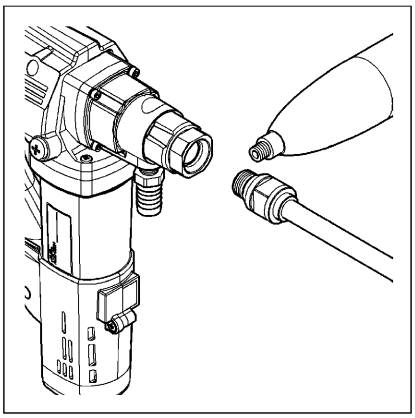
| ポイント |
| --- |
| 1. アンカービットを取りはずした後、ねじ部にグリースを塗布しておくと、錆付き防止になります。<br>2. アンカービットの冷却は空冷とし、水等による冷却は行なわないでください。水や油などをかけて急激に冷却すると、アンカービット刃部に悪影響を及ぼし、切れ味を悪くする原因となります。 |

3）サイドグリップを取りはずしてください。

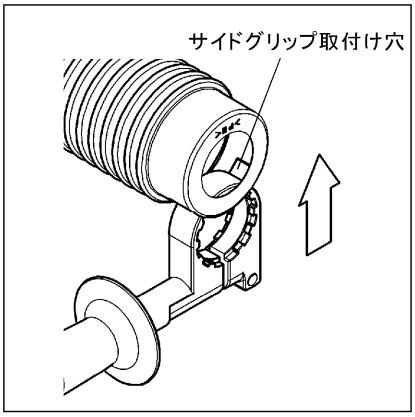
# 10. 防じんカバーを取付けて使用する場合

◎ 上向き作業をする場合は、 標準付属品の防じんカバーを取付けると、 切り粉の落下が少なく作業がしやすくなります。

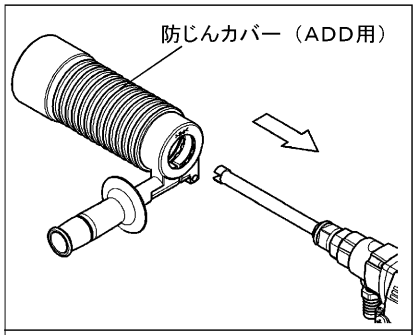
1）アンカービットを取付けてください。

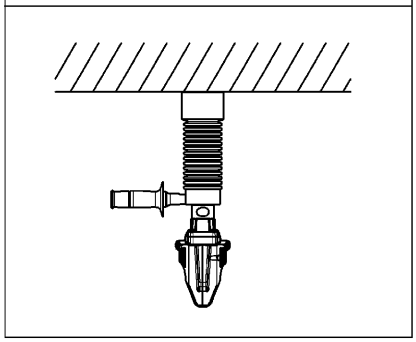


2）防じんカバーのサイドグリップ取付け穴にサイドグリップを差込んでください。




3）防じんカバーとサイドグリップを一緒にアンカードリルに取付け、 しっかり締付けて使用してください。



**⚠ 警 告**

防じんカバーを持って、アンカードリルを持ち上げないでください。防じんカバーがはずれて、アンカードリルが落下しけがの恐れがあります。

**ポイント**

作業時は防じんカバーを穴あけ面に密着させて作業してください。

# 11. 作業中のトラブルと対策

## 【1】作業中のトラブルと対策方法

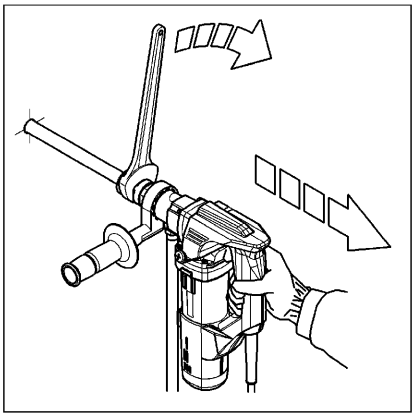
作業中に異常を感じたら、ただちにスイッチを切って、安全な状態で、下表にて原因の調査を行ってください。

| トラブル | 原 因 | 対策方法 |
|---|---|---|
| アンカービットの回転が止まった | アンカービットがロックした | 「アンカービットがロックした」の項を参照 |
| | ギヤボックス部の故障 | 本書「修理について」を参照 |
| | モータが停止した | 「モータが停止した」の項を参照 |
| アンカービットがロックした | 鉄片または切り粉などが、切削片とアンカービットの間に挟まっている | 本書「アンカービットがロックした場合の解決方法例」を参照 |
| モータが停止した | プラグが電源から抜けている | ― |
| | カーボンブラシの異常 | 本書「修理について」を参照 |
| | モータ部の異常 | 本書「修理について」を参照 |
| モータの回転が遅くなった | 作業中一定以上の負荷が加わると、自動的に回転が下がる過負荷防止機能が作動している | 穴あけ中の推力（押付け力）を弱める |
| 振動が大きい | メインシャフトの芯ブレ | 本書「修理について」を参照 |
| | アンカービットの芯ブレ | 新品交換 |
| 切れ味が悪い | 鉄筋を切削している | ― |
| | 電源容量が小さい | 電源容量を大きくする |
| | 切り粉の排出状態が悪い | 集じん機およびエアコンプレッサー等で切り粉を排出する |
| | アンカービットの目づまり | ドレッシングを行う |
| | アンカービットが摩耗している | 新品交換 |

## 【2】アンカービットがロックした場合の解決方法例

| ⚠ 警 告 |
| --- |
| アンカービットがロックした場合は、ただちに作業を中断し、プラグを電源から抜いてください。 |

◎ 片口スパナ(22 mm)でアンカービットをゆっくり回転させ、アンカービットが抜ける位置を探りながら、アンカードリルを少しずつ引抜き方向に移動させ、穴あけ面より抜いてください。



| ⚠ 警 告 |
| --- |
| ロック直後のアンカービット、ドリルのメインシャフト付近は、高温で危険です。直接手で持たないでください。 |

| ⚠ 注 意 |
| --- |
| アンカードリルを無理にこじらないでください。故障・破損を起こす恐れがあります。また、アンカービットの刃部(チップ)が脱落する恐れがあります。 |

# 12．保守 ・ 点検 ・ 修理

| ⚠ 警 告 |
| --- |
| 保守・点検の際には必ず、トリガースイッチがロックされていない事を確認し、メインスイッチをOFFにして、必ずプラグを電源から抜いてください。 |

## 【1】保 守

1）作業後は、 表面の清掃を行ってください。
アンカードリルの外枠は、 ギヤケース部がアルミ製で、 モータ部が強靭な合成樹脂製です。
モータ部外枠に、 ガソリン・シンナー・石油・灯油類を付着させると、 表面を痛めます。
モータ部外枠の清掃の時は、 乾いた布か石鹸水を付けた布などで拭いてください。

2）モータ部の保守
使用後は、 アンカードリルを危険のない状態で無負荷運転させ、 モータ内部のゴミ・ほこりなどを排出してください。

3）アンカービットの冷却・清掃
室温で冷却した後、 水洗いして刃およびシャンクの部分の切り粉を除去してください。

| ⚠ 注 意 |
| --- |
| 水洗い後は必ずねじ部にグリースを塗布してください。 そのままにしておくと錆びる恐れがあります。 |

## 【2】点 検

◎ アンカードリル・サイドグリップ・防じんカバー・ホースアダプタ・アンカービットに、 亀裂・破損はないか、 またコード被覆部・プラグ・ホース（内径φ19×2m）に、 亀裂・損傷はないか点検してください。

## 【3】定期点検

### 1. 各部取付ねじの点検

◎ 各部取付ねじのゆるみなどを定期的に点検し、 ゆるんでいる所は締めなおしてください。

| ⚠ 注 意 |
| --- |
| ゆるんだままで使用すると、 事故などの原因となり大変危険です。 |

### 2. グリスの交換について

◎ 本機にはグリスが封入されています。 本機を長持ちさせるために、 1年ごとにグリスの交換をお勧めします。 その際に、 廃棄処理等の問題もありますので、 最寄りの「販売店またはコンセック各営業所」にお問い合わせください。

### 【4】修理について

◎ 本機は厳密な精度で製造されています。 したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、 決してご自分で修理をしないで、 最寄りの「販売店またはコンセック各営業所」にお問い合わせください。

◎ その他、 取扱い上でご不明な点がありましたら、 ご遠慮なくお問い合わせください。

# 13．製品の保管

### 製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、 下記のような場所は避け、 安全で乾燥した場所に保管してください。

◇お子様の手がとどいたり、 簡単に持ち出せる場所
◇鍵のかからない場所
◇軒先など雨がかかったり、 湿気のある場所
◇温度が急変する場所
◇直射日光のあたる場所
◇引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しないでください。

本取扱説明書に記載されている商品の外観などの一部を予告なく変更している場合があります。

CONSEC 株式会社コンセック

本　　社　〒733-0833 広島市西区商工センター4－6－8
TEL (082)277-5451　FAX (082)278-6389
第二事業本部　TEL (082)277-5452　FAX (082)278-6389

| | | 検　印 |
|---|---|---|
| 型式名 | ADD－020H | |
| 製造番号 | | |